



台風シーズン前に、“今”備えよう！

感染症への対応も考える

参加費無料

手話通訳あり

お申込みは
各回1週間前まで

場所：りんどう会館 3 階 大会議室

対象：関心のある方ならどなたでも（※1日限りの参加も歓迎です）

定員：各回 30 名 ※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

豪雨災害に

① 7 月 20 日(月) 9:30~11:30

『豪雨災害と避難について』

講師：防災塾・だるま 田中栄治 氏

『災害ボランティアセンターの動き』

講師：大井町社会福祉協議会 小川宏行 氏



② 7 月 28 日(火) 9:30~11:30

『災害時の健康管理』

～自分を守る。感染症予防のための口腔ケア～

講師：歯科医師 東江文香 氏

③ 7 月 30 日(木) 9:00~12:00

『災害ボランティアセンター 運営訓練』

講師：災害ボランティアチーム DARST

備える

チラシの裏面にも… **注目!**

① 講師の方々をご紹介します！

② 災害や防災についての耳より情報！



お問合せ・お申込みは…

南足柄市社会福祉協議会ボランティアセンター

☎ 0465-72-2299

FAX 74-3276

ホームページ **お問合せへ**



〒250-0105 関本 403-2 りんどう会館 1 階

平日 8 時 30 分～17 時 15 分、土・日・祝日休み

【講師ご紹介】

災害研修『豪雨災害に備える』の講師陣をご紹介します。

それぞれの分野で活躍され、いろいろな視点から豪雨災害について一緒に考えます。

① 7/20 田中 栄治氏

小田原市にお住まい。酒匂川に近く、なおかつ海岸に近いので防災・減災について日頃から意識して生活されています。現在、下記の団体等に所属して防災の啓蒙活動をされており、防災リーダー育成や地域の皆さんへ防災の出前講座を実施していただいています。

【所属団体】

- ◆防災塾・だるま ◆SL 災害ボランティアネットワーク
- ◆小田原の防災を考える会 ◆富士・酒匂減災会
- ◆防災教育普及協会

① 7/20 小川 宏行氏

大井町社会福祉協議会に勤務。

台風 19 号で被災した相模原市災害ボランティアセンター津久井地区センターの運営支援を行われました。その他、静岡県小山町や東日本大震災の際は釜石市など被災地に社協職員として派遣されています。



② 7/28 東江 文香氏

秦野市にお住まい。長年、日本赤十字社の活動に参加。救急法・幼児安全法・健康生活支援講習等の指導員を務められています。東日本大震災等の被災地では日赤ボランティアとして活動され、当協議会の出前講座『災害時高齢者生活支援講習』は人気のメニューです。自助だけでなく地域の共助力の大切さを伝えてくださっています。

③ 7/30 災害ボランティアチーム DARST

災害ボランティアチーム DARST は様々な技術や資格、知識を持ったメンバー(消防官・応急救護士・調理師・介護士・研究員 等)が所属しています。

様々なニーズのある被災地で少しでもそのニーズに応えるべく、プロフェッショナルボランティアチームを構成しています。



研修に参加いただけなかった皆さまへ
8月7日(金)

研修ふりかえり上映会

9:30~11:30 第1回 7/20 の内容

※人数が多かった場合は

13:30~15:30 第2回 7/28 の内容

上映日の増回を検討します

ミニ 災ボラ通信

～台風が来る前に、地域で備える～



◆発行にあたって

災害に関する研修を開催するにあたり、テーマに関連した耳より情報を今後チラシの裏面に掲載していきます！今回は『平時から備えましょう』と題し、備蓄品や地域の防災について取り上げました。ぜひ、ご一読ください！

◆災害備蓄品

災害発生からライフライン復旧まで 1 週間以上を要することが多くあります。災害支援物資も到着まで 3 日以上はかかります。

⇒最低 3 日分～1 週間分×人数分の食品備蓄

◆非常用持出袋

災害備蓄品の他、貴重品や身分証明書、防寒グッズや懐中電灯など、使えるかどうか確認しながら中身を見直しましょう！

★ローリングストック法



普段の食品を少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費。消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品備蓄されている状態を保つ方法。

平時から備えましょう



◆地域の防災

日頃から地域の危険な場所を知り、地域で共有しておきましょう！下記 QR コードを読み込むと指定のページが見られます。一度確認をしてみてください。

①市 ハザードマップ



②県 浸水想定区域



③気象庁 防災情報

